

西条市版SIBつながり広がるチャレンジ応援事業		取組開始時期	平成30年度	取組の カテゴリー	地域活性化
1. 団体名	愛媛県西条市	2. 連携先の 団体	株式会社愛媛銀行、プラスソーシャルインベストメント株式会社		
3. 取組目的	・既存の補助金制度の見直し（成果の見える化） ・住民主体のまちづくり（地域課題解決につながる取組に対する住民の主体的参画を伴う仕組みづくり）		4. 関連する ゴール	  	

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）	
<p>【取組概要】 西条市版SIBは、「地域住民からの出資」を組み込んだ、成果連動型の補助金制度。事業資金は、事業内容や事業者の「想い」に共感し、応援したいと思う地域住民等からの出資により調達する（投資型クラウドファンディングを活用）。事業実施においては、事業者及び有識者、市、中間支援組織によって協議した成果目標を設定し、事業実施後、その成果目標の達成時にのみ、市から交付金を支出し、その交付金を原資に、中間支援組織が出資者に対し出資金元本を償還するというスキームである。（裏面参照。）</p> <p>【取組の特徴並びに効果】</p> <p>①事業成果の見える化 前述の成果目標が達成されなければ、市から交付金が支出されず、出資者に対しては出資金元本が償還されない仕組みであることから、成果目標が達成されるかがダイレクトに見える。</p> <p>②出資者という「応援者」の関わり 地域住民をはじめとする個人・企業は、事業者の想いや取組に共感した上で、「出資」という資金的支援を行う。（この時点で、住民視点で当該事業の必要性が吟味されていると言える。） また出資後も、出資者は、その取組を成功させるために、さまざまなカタチでの自発的な非資金的支援や協力（店舗訪問・商品購入、応援の声掛け等）をして関わりを持つとする。 取組に共感する地域住民が、当該事業、ひいては背景にある地域の社会的課題を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、当該事業者への継続的な支援にもつながっている。</p> <p>【目指すところ】 チャレンジする人が、地域の皆さんに温かく見守られ、応援され、価値を生み出す。そして生み出した価値は、また次なるチャレンジにもつながる。西条市が目指すのは、その循環である。チャレンジを応援しあえるまちとなり、一人ひとりが想いを実現できる社会。今、高校生等の若い世代から「愛着のある地元で暮らしたい。働きたい。」という声が数多く聞かれるが、地方には都市部に比べ選択できる職種が少ないという現状もある。そこを乗り越え、「やりたい仕事は自分達で生み出し、自分達で育てていく」というマインドやそれを支える仕組みを地域に広げていきたい。</p>	

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

事業への「出資」（投資）を通じて、地域住民をはじめとする多様な人と地域課題の解決にビジネスの視点をもって取り組む西条市版SIBのスキームは、SDGsの「経済・社会・環境」の三側面における持続可能な開発を推進する理念に合致。また、実施する個々の事業は、SDGsの17のゴール達成につながるものを採択し実施中。

ステークホルダーとの連携

平成29年12月、株式会社愛媛銀行・プラスソーシャルインベストメント株式会社・西条市の3者で「ローカルファンド構築事業の推進に関する協定」を締結し、SIBを協力して実施中。

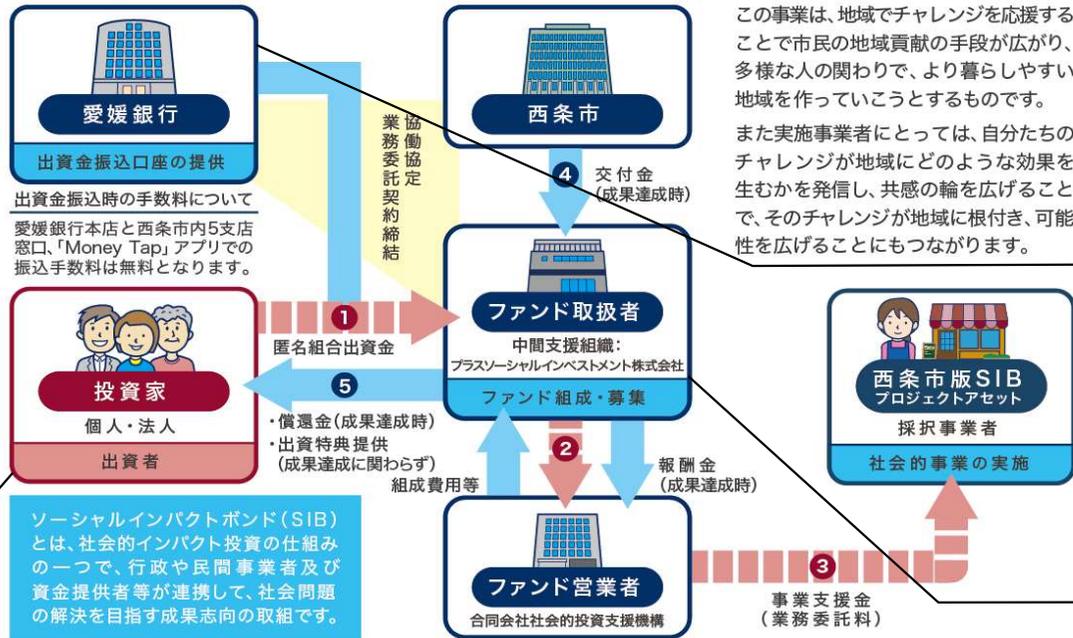
モデル性・波及性

本事業の実施により、暮らしに関わる身近な社会的課題の解決に向けたチャレンジを、地域住民が「自分事」として捉え、資金的・非資金的な応援を生んでいる。
住民目線ではまだ馴染み薄いSDGsを知るきっかけや意識の醸成を育んでいる。

自由記述欄

▼西条市版SIBの連携体制図とステークホルダーの声

西条市版SIBの仕組み



この事業は、地域でチャレンジを応援することで市民の地域貢献の手段が広がり、多様な人の関わりで、より暮らしやすい地域を作っていくとするものです。
また実施事業者にとっては、自分たちのチャレンジが地域にどのような効果を生むかを発信し、共感の輪を広げることで、そのチャレンジが地域に根付き、可能性を広げることにもつながります。

出資金振込時の手数料について
愛媛銀行本店と西条市内5支店窓口、「Money Tap」アプリでの振込手数料は無料となります。

投資家
個人・法人
出資者

ソーシャルインパクトボンド(SIB)とは、社会的インパクト投資の仕組みの一つで、行政や民間事業者及び資金提供者等が連携して、社会問題の解決を目指す成果志向の取組です。

西条市版SIBの実施にあたって、愛媛県西条市、株式会社愛媛銀行、プラスソーシャルインベストメント株式会社の三者は、地域における社会的投資推進に関する協定(ローカルファンド構築事業の推進に関する協定)を締結しています。

出資者

「この年まで生きてると、地域に何かしら返したい、残したいと思う。そう思っている人は僕の周りにもたくさん居るよ。ただ、それを行動に移せんかったり、どうしたら良いんか分からんかったりするんだろうね。潜在的には、何かやりたい人、応援したい人はたくさん居るんよ。SIBは、その第一歩を踏み出す、背中を押すものよね。地域のことは行政がやることとか、行政任せにするとかじゃなくて、我々市民一人一人がボトムアップして行って、みんなで盛り上げないかんと、常々思う。SIBをきっかけに、色んなものが生まれていくんじゃないかなと思うよ。(2019年7月インタビューより)」



市内在住の桑村さん

株式会社愛媛銀行



「西条市SIB事業は、当行、西条市、プラスソーシャルインベストメント(株)の3者が連携協定を結び、地域の皆様による、地域の未来に向けた挑戦を応援するために実施してきた事業です。
また、地域の資金循環としての仕組みに共感し、SIB事業を当初より一緒になって立ち上げ出来たこと嬉しく思います。今後も、ふるさと銀行として、本事業の成功のため、また、SDGsの視点で、地域の課題解決へ向けた取組を応援してまいります。」

プラスソーシャルインベストメント株式会社



「プラスソーシャルインベストメント株式会社は、投資型クラウドファンディング等を活用して地域住民や地元企業から出資を募り、社会的事業を支援し、持続可能な地域づくりに貢献することを目的に設立した会社です。本事業では、SIB事業の仕組みづくりから住民出資を実現するための資金調達スキーム構築、また中間支援組織として活動しています。
市民のチャレンジを地域全体で支え育む本取り組みを通じて、西条のまちがもっと住みやすく、働きやすい、豊かで持続可能なまちになることを期待しております。」

(連携体制図出典：プラスソーシャルインベストメント株式会社)

▼関連ホームページ

- ・西条市ホームページ
<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/chiikishinko/>
- ・投資で地域を応援するサイト：「エントライ」
<https://www.en-try.jp/feature/ehime-saijo-sib/>